

科目名	高次脳機能障害			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科2年	必修・選択	必修
<p>〔授業の目的・ねらい〕</p> <p>高次脳機能障害全般について、定義、症候、病巣、評価法、訓練および支援の方法を講義や演習を通じて習得する。</p>							
<p>〔授業全体の内容の概要〕</p> <p>高次大脳機能障害に関する知識を習得し、検査、評価法を学び、リハビリテーションについて理解を深める。</p>							
<p>〔講師の実務経験〕</p>							
<p>〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕</p> <p>高次大脳機能障害の概要を把握、理解し、臨床場面での適切な検査・評価等を実施するための基礎を習得する。</p>							
回数	講義内容						
1	自己紹介、学生自己紹介。高次大脳機能とは？VTR、作文						
2	情報収集実習						
3	「脳」をイメージする						
4	脳の構造と機能						
5	局在と側性化						
6	疾患の概要						
7	脳のまとめ						
8	意識障害、 解説と評価(演習を中心に)						
9	痴呆障害、 "						
10	注意障害 "						
11	記憶障害 "						
12	前頭葉シンドローム "						
13	失認概要						
14	失行概要						
15	半側無視概要						
<p>【 準備学習・時間外学習 】</p>							
<p>【 使用テキスト 】</p>							
書籍名		著者名		出版社			
標準言語聴覚障害学 高次脳機能障害学				医学書院			
高次脳機能障害 ポケットマニュアル 第3版				医歯薬出版株式会社			
<p>【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】</p>							
<p>試験、100点満点で評価する。</p>							